

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜市立長森東小学校		
実 施 期 間	平成25年11月2日(土)～11月7日(木)		
実 施 概 要	・地域住民、中学生と一緒にやる挨拶運動(小中連携) ・人権アートライブ(藤田敬一先生による講話) ・学校公開日(授業・帰りの会) ・保護者、地域住民、幼児、児童と一緒にやる交流活動 「夢づくりふれあいフェスタ」		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	540人	計 693人
	地域関係者	153人	
実 施 状 況	・児童会・生徒会の話し合いを夏休みに開き、あいさつ運動の詳細について話し合った。児童会「あいさつ隊」、校区の中学生、青少年育成市民会議の当番の方、職員が朝7:40～8:10に校門に立って、登校する児童に「おはようございます。」と挨拶を呼びかけ心のこもった挨拶ができた児童を学校放送で紹介した。 ・人権アートライブで藤田敬一先生による人権についての講話を保護者と共に聴いた。 ・9:40～10:25を教科、道徳の授業10:25～10:35を帰りの会公開とした。 ・青少年育成市民会議、老人クラブ、体育振興会、婦人会、インリーダー、ボーイスカウト、各地区子ども会、PTAがそれぞれ活動コーナーや作品づくりコーナーを設けた。また、中学生のボランティアが活動のサポートで参加した。学校は、各コーナーの地域の方の援助に入り、児童は保護者や地域の友達と一緒に各コーナーを回ったり一緒にお弁当を食べたりしてふれあいを深めた。		
成果及び課題	・児童会が段階を踏んで目指すあいさつの仕方を呼びかける取組の中でいつもの仲間と違う様々な方と挨拶を交わすことで、目と目を合わせ、進んであいさつできる児童が増えた。児童生徒が中心になって活動を進めていく自発的な活動ができた。 ・人権についての話は児童に向けてとても分かりやすい内容と語り口であった。児童は人権について理解し、自らの体験を重ねながら聞くことができた。 ・教科、道徳、帰りの会を参観してもらった。教科以外の道徳の時間を意図的に公開した。参観後、道徳授業の内容について感想を保護者から寄せてもらい、学校通信で広め、家庭ぐるみの道徳実践への意識を啓発することができた。 ・幼児、児童が保護者や地域の方とふれあい、楽しい時間を過ごすことができた。地域の方々が楽しい活動コーナーの工夫をし、地域の方ともふれあいを深めることができた。中学生のボランティアも献身的に活動し、小学生のよい見本となった。 ・昨年から少しずつ検討し部分的に改正してきているが、来年度からのコミュニティスクール化に伴い、地域とのふれあい活動のもち方を再度考えていきたい。		